

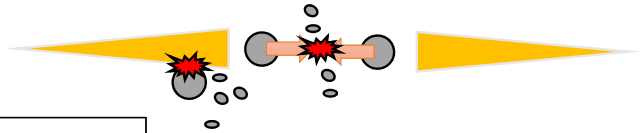
クロスジェットミル/流動層式ジェットミル

ソリューション

- ・不活性ガス雰囲気下 (N₂, Arガス) で粉砕したい
- ・製品へのコンタミ量を少なくしたい
- ・シャープな粒度分布の製品が欲しい
- ・乾燥工程等で凝集してしまった製品を解砕したい
- ・開発/研究用途で使用するラボ機を探している

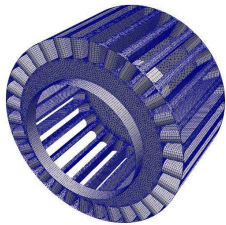
粉砕機構

「高速ジェット流による粉砕」+「原料同士の衝突」



分級機構

「気流による向心力」VS「分級ロータの遠心力」



解析モデル



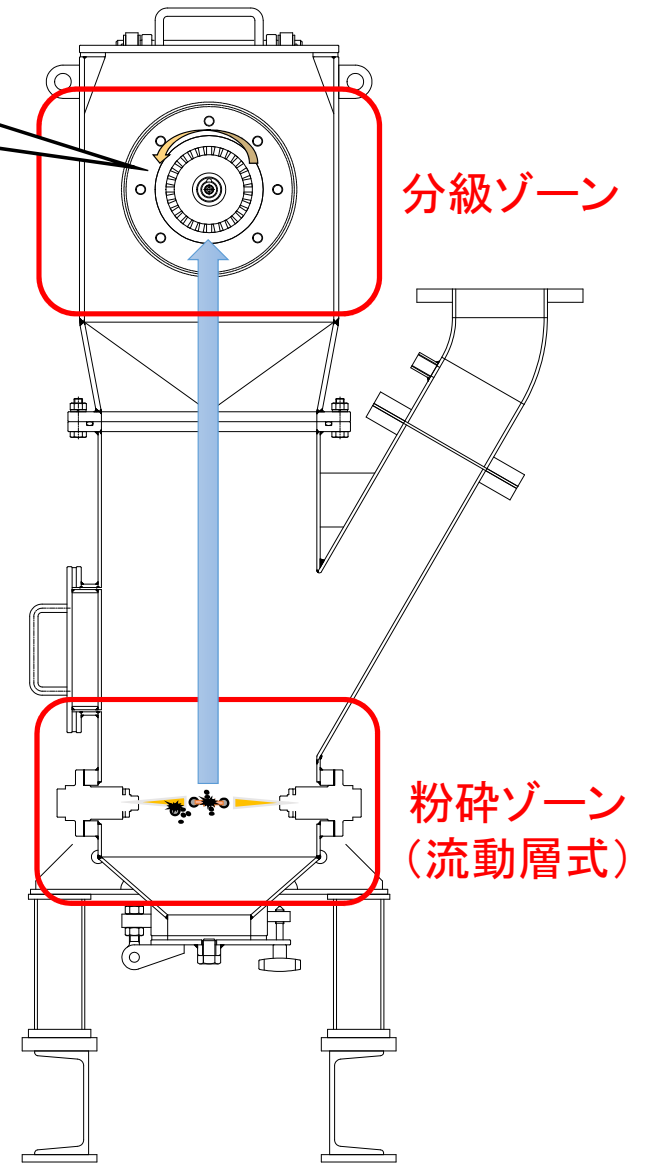
分級ロータ写真

ミル機内に
分級機を内蔵

ポケットジェット
KJ25をご提案

粉砕時の製品への
コンタミが少ない

分級機の回転数を
変更するだけで
粒度調整が可能



テスト機のラインナップ

ラボ機 → 小型機 → 生産機

型式	PJ6	KJ25	KJ50	KJ200	KJ5000
使用エア量 [Nm ³ /min]	0.2	0.5	0.9	3.6	80
原料必要量	約10mL～	200g～	1kg～	3kg～	—
運転方式	バッチ	バッチ (連続)	連続	連続	—

製作実績
最大サイズ

PJ6 / ポケットジェットJr.

KJ25 / ポケットジェット

KJ50 / クロスジェットミル

KJ200 / クロスジェットミル



ラボ機(PJ6)から生産機相当サイズ(KJ200)のテスト機を保有

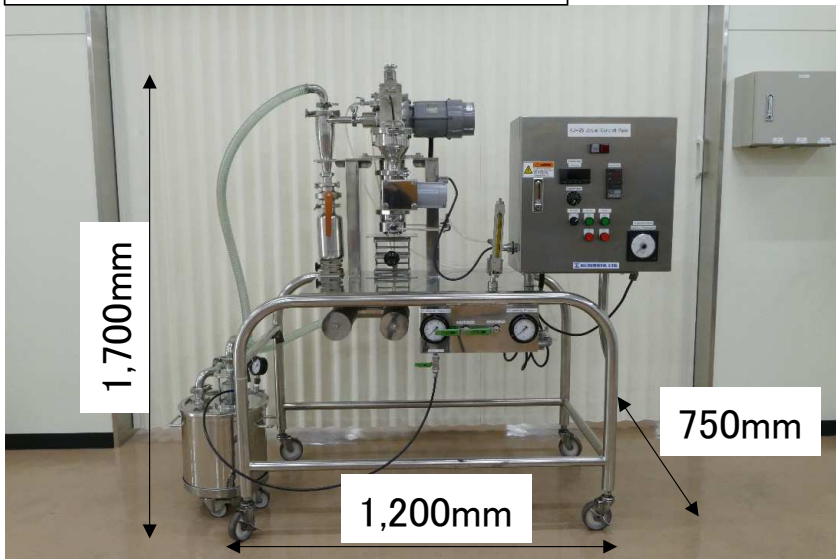
なぜ開発/研究用途でポケットジェットKJ25が採用されるのか？

- ・分級機をマウントしており**製品の粒度調整が容易**
- ・製品へ**コンタミが少ない**
- ・不活性ガス雰囲気下での**粉碎が可能**
- ・少量で**粉碎の可否を確認可能**
- ・短時間の連続運転も**可能**であり**サンプル作製が容易**
- ・**設置スペースがコンパクト**
- ・**分解・清掃・組立が容易**

開発/研究用途での
使い勝手が良い

短期間の貸し出しも可能
「必要なユーティリティ」
電源: AC200V+圧縮空気のみ

KJ25 / ポケットジェット外観



粉碎部



分級部



処理事例: 回転数変更による粒度調整

